

浜松商工会議所 創立130周年記念誌

The Hamamatsu Chamber of Commerce and Industry
130th Anniversary 1893-2023

CONTENTS

-
- 03 会頭挨拶
-
- 04-11 【年表】浜松商工会議所130年の軌跡
明治26年から令和5年まで
-
- 12 防潮堤整備事業
-
- 13 創立130周年記念式典・記念講演
-
- 14-15 創立130周年記念
会員大会
浜名湖花博2024 記念植樹
-
- 16-17 創立130周年記念事業
全国軽トラ市inはままつ
(第10回軽トラはままつ出世市)
-
- 18 歴代会頭
-
- 19 編集後記
-



会頭挨拶

創立130周年を迎えて

浜松商工会議所
第21代会頭

齊藤 薫



浜松商工会議所が、創立130周年という節目の年を無事迎えられましたことを、心より御礼申し上げます。

顧みますと、浜松商工会議所は明治26年4月7日に、地元経済界の先覚者の方々により、「浜松商業会議所」として設立され、以来130年、国内外経済情勢の幾多の変遷に対処し、活動を続けてまいりました。

当商工会議所がこのように長きにわたり活動を続けることができたのも、ひとえに事業運営を支えていただきました会員の皆さまはもちろん、歴代会頭、副会頭をはじめとする役員の皆さま、実務面より支えていただきました職員の皆さま、さらには会議所活動に多大なる信頼、ご理解を賜りました、行政はじめ関係機関の皆さま、地域住民の皆さま全てのおかげです。この場をお借りし、改めて感謝申し上げます。

そして今、我が国では、国際情勢の不安定化に伴うサプライチェーンの再編成や世界的な物価高をはじめ、少子高齢化が進む中でのデフレ脱却、AI技術の発展に伴う労働環境の大幅な変化など、かつてない大きな変革期を迎えています。

こうした中、当商工会議所では、地域唯一の総合経済団体として、次の10年、さらには創立200周年を見据え、一貫して中小企業支援、並びに地域のさらなる発展に向け、全力で取り組んでまいりたいと考えております。

皆さまにおかれましては、引き続き当商工会議所の事業運営に対し、格別なるご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1882
明治15年

1893
明治26年

1901
明治34年

浜松商工会議所

130年の軌跡

前身の浜松商友社誕生

浜松商業会議所設立

4月7日、全国で33番目に浜松商業会議所が発足。東は天竜川、西は浜名湖周辺に至る地域一帯の商業の発展を目指した。設立当初の会員はわずか30企業だった。

浜松物産陳列館 開設

地元の物産を陳列して宣伝するとともに、商工業者の啓発のため、当商工会議所の建言によって浜松物産陳列館が開設された。陳列館は洋風の一階建てで、陳列室には特産品や工業製品、農産物が展示された。この博覧会スタイルが大変珍しがられ、市外からも多くの人が訪れ話題となった。



創立当時の浜松商業会議所

浜松商工会議所は創設以来、

明治、大正、昭和、平成、令和と激動する時代の中で、常に地域経済の発展、振興のために尽力してきました。特定の業種や産業に限定されず、また規模の大小を問わず、広く地域の商工業一般を通じて総合経済団体として、普遍的かつ公平な活動を展開しています。

社団法人浜松商工会議所 発会式挙行

『浜松商工時報』創刊

復興浜松商工祭 開催

駅前や広小路には闇市と呼ばれた青空市場が並んでいたが、少しずつ復興の木槌が響き始めた。当商工会議所は浜松市などの協力を得て「復興浜松商工祭」を開催。福引付き全市一斉大売り出し、商工人野球大会、市内循環マラソン大会、芸能行事などを繰り広げ、市民に活気を甦らせた。



1947年4月発行
『浜松商工時報』
創刊号 (B5判)

国民金融公庫浜松支所誘致

浜松中小企業相談所開設

浜松商工会館 落成

商工都市のシンボリック的存在として、伝馬町の商工会議所南隣に浜松商工会館が目見えした。



浜松商工会議所事務所 (左) と、
竣工した浜松商工会館 (右)

鉄道院浜松工場（現 JR東海浜松工場）の誘致
当時、鉄道院にて修理点検工場を浜松周辺に建設するとの検討がなされた。地場産業しか持たなかった浜松にとって、官営の大工場建設は一大朗報だった。しかし、建設計画中止の急報がもたらされたため町民が決起して陳情のために上京。復活運動が実を結び、11月に鉄道院浜松工場が開設された。

浜松で米騒動起こる

商工業の発展に伴い農業人口が激減したため米の生産が追いつかず、米価が著しく値上がりし全国的に米騒動が勃発。富山県での米騒動が浜松に波及し、群衆が米穀商や富豪の家を襲った。沈静後、当商工会議所は被害を受けた米穀商の所得減額を名古屋税務監督局長に稟請した。

浜松商工会議所に改称

1927年4月、商業会議所を名実ともに商工業全般を代表する地域総合経済団体として組織し、その機能を整備・強化するために「商工会議所法」が公布された。当商工会議所は同法に基づき、浜松市内を活動区域として存続することを決定し、1928年1月から「浜松商工会議所」と改称した。

浜松商工会議所会館 竣工

静岡県商工業経済会浜松支部となる

戦時体制の下、1府県1商工業経済会となり、当商工会議所も解散。静岡県商工業経済会浜松支部の名称で商工活動を続けた。



1935年11月、商工会議所事務所を伝馬町48番地に移転。12月に新会館の落成披露が行われた

特別認可法人 浜松商工会議所 発足

1953年8月、新しく商工会議所法が施行され、当商工会議所は1954年2月27日に旧法下で最後の会員総会を開催。同年3月15日、通商産業大臣の許可を得て、4月1日に新制浜松商工会議所が活動を開始し、現在に至る。

国鉄新幹線浜松駅の設置要望 （1964年開業）

国道1号バイパス建設陳情 （1969年開通）

浜松商工会議所会館を新築

浜松駅周辺整備計画協議会発足

1889年の東海道本線開通以来、浜松は鉄道によって南北に分断されていた。1962年頃から東海道線を高架化する運動が盛り上がり、1972年に都市計画事業として高架化が決定された。高架工事と並行して、浜松駅周辺整備計画の一環として、均衡のとれた南北の街づくりが推進。当商工会議所は2次にわたって整備計画を浜松駅周辺整備計画協議会に提言。また浜松経済クラブもアンケート調査を報告し、浜松の顔づくりに乗り出した。



1957年に浜松商工会議所事務所を改築（左）



浜松商工会議所事務所と浜松商工会館を一体化し、1969年に地下1階、地上6階建ての浜松商工会議所会館が完成

1972 昭和47年

国立医科大学設置陳情（浜松医科大学1974年開学）
商工会議所会員事業所共済制度実施
商工振興委員制度発足

1975 昭和50年

会員数5千事業所達成

1979 昭和54年

商業近代化実施計画浜松地域部会発足

1980 昭和55年

商業近代化実施計画発表

1982 昭和57年

商調協駅周辺大型店出店計画審議

1983 昭和58年

浜松商業振興対策協議会設置

1985 昭和60年

青年部設立

1988 昭和63年

会員数1万事業所達成

平成

1990 平成2年

全国商工会議所青年部
全国大会を浜松で開催

1991 平成3年

NEWing（ニューイング）発刊

会報1000号発行を機に、誌名を『浜松商工時報』から『NEWing CHAMBER of HAMAMATSU』に改称。内容も装いも新たにされた



青年部設立総会



浜松駅周辺整備と大型店出店問題について
『浜松商工時報』号外で詳報（昭和57.11.1）



2005 平成17年

青年部創立20周年記念式典開催

2006 平成18年

「やらまいかブランド」を初認定
知的・産業クラスターフォーラム2006開催

2007 平成19年

青年部「日本YEG大賞」グランプリ受賞
日本商工会議所青年部では、地域活性化やビジネス活性化に役立つ優れた事業を表彰しており、当商工会議所青年部の政策提言が組織支援部門でグランプリに輝いた。

浜松市中心市街地活性化協議会設立
全国商工会議所

観光振興大会in浜松開催
「地域の特性を全国に発信しよう・地域ブランドの創出と産業観光との連携への指針」をテーマに、全国から商工会議所役員や観光関係者など約1200人が集まり開催された。



全国商工会議所観光振興大会in浜松

2008 平成20年

新幹線ひかり号停車8本増加実現

緊急経済対策支援体制を強化

リーマンショックを震源とする株価下落、円高など深刻な経済情勢を受けて、金融・経営に関する相談窓口を設置。経済対策支援の強化を開始した。

2009 平成21年

日本商工会議所青年部
全国会長研修会浜松会議開催

1993
平成5年

創立100周年



街を挙げて創立100周年を盛り上げた。
七夕まつり開催中の有楽街にて

伝馬町から東伊場2丁目に移転新築のため、急ピッチで建設が進む現在の浜松商工会議所会館。1994年1月に創立100年・新会館落成記念式典が盛大に挙行された



東伊場に新会館が竣工 新大学設置要望（静岡文化芸術大学2000年開学）



1993年、浜松商工会議所新会館上棟式で、鉄骨に記念の金のボルトを取り付ける石津会頭

三遠南信バイタライゼーション 浜松支部 設立

静岡県遠州地域、長野県南信地域および愛知県東三河地域（三遠南信地域）における輸送機械、産業機械、光学機器等の産業集積のポテンシャルを生かし、国際的な市場競争力を確保するために「三遠南信バイタライゼーション協議会」を発足。当商工会議所はその浜松支部として活動した。同協議会では地域間連携を推進するとともに、大学等教育機関、公的研究機関や企業の連携を推進した。

女性会 設立

浜松市に政令指定都市実現へ提言
（政令市2007年移行）

浜名湖花博 開幕

浜松商工会議所パビリオン

「浜松産業会館E・R・A」単独出展



しずおか国際園芸博覧会

浜名湖花博

2004.4.8-10.11

2010
平成22年

次世代自動車シンポジウム開催 光・電子技術イノベーション創出を展開

全国展開事業

「浜松うなぎスタジアム2010」開催

浜松地域中小企業応援センター 設立

当商工会議所と浜松信用金庫（現浜松磐田信用金庫）は「平成22年度中小企業応援センター事業」の実施機関の一つに採択。新事業展開や事業承継を支援する専門家の派遣、相談窓口の設置、セミナーやビジネスマッチング事業を実施した。

はままつ次世代環境車社会 実験協議会 スタート

東日本大震災復興支援 大船渡商工会議所へ職員派遣

東日本大震災復興支援 日商に1200万円義援金贈呈

全国商工会議所

女性会連合会全国大会 浜松大会開催

プロモーション実践塾 開講

経営者はもとより、販促責任者、営業責任者、ウェブ担当者を対象に、ネット時代を勝ち抜くための販促活動カリキュラムを提供。

静岡県地域ブランドフェスティバル 開催

静岡県内の10商工会議所との連携により、三島コロッケや静岡おでんなど県内各地から52店が出店。来場者も1万5000人を超え盛況を博した。

津波防潮堤整備寄付活動開始（2020年完成）

2001
平成13年

1994
平成6年

2002
平成14年

2003
平成15年

2004
平成16年

商業部会にて「商人ゼミナール」を開講

地元浜松の経営者に想い（経営理念）や実体験を自ら語っていただくことで、参加者に「気づきの場」を設け、「経営力強化」を目指すことを目的に、商業部会主催で開講。

第1回目の講師は（株）ティ・エム・ワイ代表取締役の伊藤安子氏。「私の創業ストーリーと今後の事業展開」と題し、「おもてなしの感性」や、「顧客接点（コンタクトポイント）の大切さ」について講演した。



健康・医療・福祉部会にて
第1回「いきいきフェスタ」を開催

健康・医療・福祉部会の会員事業者を対象に、健康に関する自社商品・サービスをPRする機会の創出のため、浜松商工会議所会館1階マイカホールにて「いきいきフェスタ」(現…いきいき健康フェスタ)を開催した。テーマは「健康経営くあなどれない！□腔ケアと健康寿命の意外な関係」。当日は300人と多くの来場者があり、健康に対する関心の高さがうかがえた。



第1回「会頭と語ろう会」を開催

会頭自ら市内の各地へ出向き、地域の会員事業者からの生の声を聴き、今後の政策提言や意見活動ならびに商工会議所事業に反映させていくことを目的に実施した。2015年から2018年までの3年間で全31回、延べ1287人が参加し、活発な意見交換の場となった。



青年部創立30周年

商工会議所青年部の英語名「YJGJ」は「Young Entrepreneurs Group」の頭文字をとったもの。当商工会議所青年部の会員数は約250人。創立以来、政策提言活動や地域活性化事業を通して浜松地域の活性化を図ってきた。2015年には創立30周年を迎え、年間を通して記念式典や記念事業を展開し、地域内外の経済人と多くの交流の機会をつくった。



浜松商工会議所会館5階に ジェトロ浜松貿易情報センターが開設

浜松市や当商工会議所からの強い要請を受け、浜松商工会議所会館内に「ジェトロ浜松貿易情報センター」が開設。同一県内に2カ所の事務所を構えるのは福岡県に次ぐ2例目。輸出版路の開拓、海外進出先での支援、海外ビジネス情報の提供などを通して日本企業の海外進出を支援するとともに、海外企業に対して日本への進出を働きかける活動や、対日投資のワンストップセンターとしての役割を担う。



肴町に浜松地域ブランド 「やらまいか」アンテナショップがオープン

「浜松地域ブランドやらまいか」の知名度アップと、中心市街地における賑わいづくりの一助となることを目的に、中区（現中央区）肴町に「まちの駅やらまいかショップ」をオープン。

季節に応じて、おでん、とろてんなどを無料サービス。週末には地元企業によるフェアを定期的に開催。2年間の運営で来店者数4万人、売上高は4000万円を記録した。



浜松商工会議所会館1階に 「はままつ起業家カフェ」が開設

浜松商工会議所会館1階に、起業相談の拠点「はままつ起業家カフェ」がオープンした。地域の産学官金が連携して、起業のための知識の習得や資金調達、販路開拓などを総合的に支援する。相談室やセミナー室のほか、創業に関する資料や、起業家同士で情報交換できる交流スペースが設置された。



平成28年

2016 3月

J Aとびあ浜松 鈴木和俊氏が副会頭に就任

2014年11月、とびあ浜松農業協同組合が当商工会議所へ入会。以降、当商工会議所との連携による6次産業化の取り組みが始まる。「浜松産の食材でヒット商品を作ろう！プロジェクト」では、地域資源を活用した多くの商品を発売。その他、「軽トラはままつ出世市」を開催し、中心市街地の活性化にも貢献した。2016年3月、同組合経営管理委員会 鈴木和俊会長が当商工会議所副会頭に就任した。



第1回軽トラはままつ出世市 開会式の様子

多くの会員事業者が参加でき、対外的な宣伝力のある事業活動として「会員大会」を開催した。第1回では日本レスリング界の栄和人監督と吉田沙保里選手を招き、「オリンピックへの道」と題したトークショーを行った。普段は当商工会議所と接点のない方々が参加しやすいように、会員事業所の経営者・従業員とその家族にも参加対象を広げたところ、701人が参加し盛況を呈した。

第1回「会員大会」を開催



2017年 | NHK大河ドラマ『おんな城主 直虎』放送

女性会創立15周年

当商工会議所女性会は創立15周年を記念して記念式典を開催。記念講演会では講師の田辺一邑氏、国際日本文化研究センター准教授（所属・職名は講演当時）の磯田道史氏を講師に迎えた。NHK大河ドラマ『おんな城主 井伊直虎』にちなんだ講談と講演では、それぞれ異なる視点から「井伊直虎」に迫り、千人を超える参加者が聞き入った。



9月、グランドホテル浜松にて行われた記念式典で挨拶する太田順子女性会会長

政府の要請を受け、自治体における接種負担を軽減し、国内全体の接種を加速させるべく、職域接種の単独実施が困難な中小企業を対象とした「新型コロナウイルススワクチン共同・職域接種」を行った。1〜3回目までの接種を行い、延べ4万3000人以上が接種を受けた。

会員事業所向けに新型コロナウイルススワクチン接種を実施（1・2回目）

※3回目接種は2022年4月実施



多言語通訳機「ポケットク」を会員企業へ貸与

ラグビーワールドカップ2019や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据え、インバウンドの取り込みを一層強化する必要があったことから、2019年3月、浜松市、地元金融機関などと連携し、「日本一のインバウンド応援都市 浜松」を宣言。
宣言を受け、当商工会議所の取り組みの一環として、約70の言語に対応する携帯型自動翻訳機「ポケットク」500台を会員事業者へ無償貸与。外国人客への対応力アップを支援した。



2019年 | NHK大河ドラマ『いだてん〜東京オリムピック噺〜』放送

人材支援室設置

地域の喫緊の課題である人材確保の面で会員事業者を支援するため、新たに「人材支援室」を設置。「人材確保・育成」「女性の活躍支援」などをテーマにセミナーを開催する。

また、求職者一人一人と会員事業者を結び付ける「就職寄り添い相談」では、当商工会議所ならではのきめ細かな支援を実施。毎年200人を超える求職者が就職内定を得るまで実績を伸ばし、会員事業者からのニーズが年々増している。



公益財団法人 浜松地域イノベーション推進機構内に 次世代自動車センターが設立

公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構内に「次世代自動車センター浜松」が設立。

次世代自動車へのシフトが進み、エンジン部品を製造している当地域中小企業のビジネス減少、雇用や地域経済に対する悪影響が懸念される状況を受け、当地域中小企業を持つ固有技術を生かし、次世代自動車に搭載される部品を開発・製造するための支援を実施。



次世代自動車センター会員企業によるグループディスカッションの様子

商業部会にて「事業再構築経営塾」を開催

新型コロナウイルスの影響で、既存事業の見直しや新規事業に取り組み企業が増える中、10年先を見据え、社会経済の変化に応じて自社事業を再構築することが大事になった。このような状況をきっかけとして、商業部会主催で「事業再構築経営塾」を開講。

開講初年度は「①市場予測」「②モノの売り方」「③取り組み事例」の3回シリーズにて開催。「①市場予測」では、(株)経営共創基盤 共同経営者の塩野誠氏をお迎えした。



浜松ロボット産業創成研究会による 第1回「ハマロボ展」を開催

労働者の高齢化や人手不足に悩む中小製造業に、課題解決の選択肢として自動化を検討してもらうきっかけづくりの場として、当商工会議所の浜松ロボット産業創成研究会が中心となり「ハマロボ展」を開催。

市内に拠点を置く会員事業者7社が、人と協働できる最新のロボットの実機をデモ展示したほか、自動化や協働ロボットに関するセミナーや、専門家による個別面談も行われ、2日間で461人が来場するなど賑わいを見せた。



当商工会議所会館にて開催

みんなのでつくろう防潮堤 『1社1日100円運動』が結実

浜松市沿岸域は、多くの宅地や事業所・工場があるだけでなく、交通の大動脈ともいえる東海道線・国道1号線が通るエリア。地域の安心・安全を守るべく、官民一体で新たなレガシーを築き上げた。

2011年3月11日に発生した東日本大震災の惨状を目の当たりにした株式会社一条工務店創業者の大澄賢次郎氏が、創業の地でもある浜松市の南海トラフ巨

大地震の津波被害を憂い、最大級の津波にも耐える強い防潮堤の整備をスズキ株式会社社長（当時）の鈴木修氏を仲介に市・県に提案。その原資となる300億円を一条グループとして静岡県に寄付を申し出た。

これを契機に浜松商工会議所は、2014年より、「自分たちの生命・暮らしを自ら守る」という精神のもと、防潮堤建設に向けて会員企業からの募金活動『1社1日100円運動』を強力に推進し、市民、自治会等と共に寄付活動を展開した。

静岡県は早期の防潮堤完成を目指し施工に取り組み、浜松市は整備に必要な土砂の供給や地元の調整等を担い、大規模な防潮堤建設事業が進められた。さらに、官民一体となった「みんなのでつくろう防潮堤市民の会」が立ち上げられ、市民や

企業が丸となり、「オール浜松」体制で事業を推進。検討開始から9年、工事着手から約7年となる2020年3月に竣工を迎えた。

防潮堤整備の竣工にあたり地域に多大なる貢献をした企業を後世にまで称えるため、この防潮堤の名称を『一条堤（いちじょうづつみ）』とした。



「一条堤」建設記念碑の除幕風景



篠原5工区

防潮堤の概要

『一条堤』は、天竜川河口から浜名湖今切口までの浜松市沿岸域約17.5kmに及んでいる。防潮堤の核となる部分は、ダム技術であるCSG(Cemented Sand and Gravel)工法により築造されており、この規模と環境に配慮されたCSG工法による防潮堤は世界的に類を見ないものである。また、全国の他の地域に先駆け、多くの寄付金により、1000年に1回程度発生するといわれる地震・津波高(レベル2)に耐えうる防潮堤の整備を行った先進事例でもある。

この防潮堤は、津波に対する十分な防災機能のみならず、平時は地域の憩いの場として利活用されることを目指し、CSGを核として、海岸防災林内では植栽の基盤となる土砂、砂丘内では元あった砂で覆い、海岸防災林の復元や、地域の象徴的な自然環境や景観にも配慮した構造となっている。



五島2工区



中田島1工区



舞阪1工区

地域経済の発展に向け、決意新たに130周年を祝う

浜松商工会議所は創立記念日である4月7日、創立130周年の記念式典を開いた。1893（明治26）年の同月同日、全国で33番目、発足時は「浜松商業会議所」として30企業だった会員数は、今や1万3500社に拡大。地域企業の経営支援や産業振興に取り組んできた歩みを振り返りながら、記念すべき節目を225人の参加者が祝った。

式辞で斉藤薫会頭は、「経営力強化と変革への挑戦」をテーマに掲げた第25期中期行動計画の重点方針として、脱炭素やDXなど社会情勢の変化に直面する中小企業の支援、新産業創出、中心市街地活性化、大河ドラマなどを生かした観光振興に積極的に取り組む考えを示し、「次の10年、さらに創立200年に向けて着実に歩みを進めたい」と語った。

式では、鈴木康友市長や静岡県森貴志副知事ら（いずれも役職は当時）が来賓祝辞を述べた後、前年度に創業1000年を迎えた会員企業6社の特別顕彰を実施した。

式典後の第二部では、早稲田大学ビジネス・ファイナンス研究センター研究院教授の藤本隆宏氏による記念講演が行われた。

「日本の製造業衰退論にも申す 2020年代の巻き返し戦略」と題された講演の中で藤本氏は、バブル崩壊以降、日本の製造業が衰退しているとする世論に統計を用いて反論。日本のものづくりの現場は調整力に富む「インテグラル型（調整集約型）」であることが特徴で、製品開発や生産の場が深く連携し合い、チ



記念講演では日本の製造業が持つ底力が説かれた

ームワークで仕事を進める協業形式によって競争力を発揮していると説明した。また、デフレ局面からの脱却を踏まえ、賃上げに対応するため、地域全体での生産性向上運動の必要性を提示。生産現場に沿った腹落ちするDX推進の必要性を訴えた。

中小製造業を取り巻き受注構造が大きく変化している状況の中、ものづくりのまち浜松の製造業者にとって、地域の産業の誇りと未来への展望、そして元氣と心強さをもらえる講演となった。



創業100年企業特別顕彰

第一部 記念式典

オープニング スライド上映

1 開式の辞

創立130周年記念事業特別委員会
委員長 前嶋文明

2 国歌斉唱

3 物故者追悼

4 式辞 浜松商工会議所 会頭 斉藤薫

5 来賓祝辞

関東経済産業局 産業部次長 小澤元樹 様
静岡県 副知事 森貴志 様
浜松市 市長 鈴木康友 様
日本商工会議所 理事・企画調査部長
五十嵐克也 様

6 来賓紹介

7 創業100年企業特別顕彰

8 閉式の辞

浜松商工会議所 副会頭 石黒栄
(創立130周年記念事業特別委員会
担当副会頭)

第二部 記念講演

日本の製造業衰退論にも申す 2020年代の巻き返し戦略

講師/
早稲田大学研究院教授、東京大学名誉教授
藤本隆宏 氏

1979年東京大学経済学部卒。三菱総合研究所、ハーバード大学博士課程を経て、1990年～2021年東京大学経済学部助教授・教授。その間、ハーバード大学客員教授・上級研究員、リヨン大学客員教授、日本学術会議議員など歴任。2003年～2021年東京大学ものづくり経営研究センター長。現在、早稲田大学教授、東京大学名誉教授、一般社団法人ものづくり改善ネットワーク代表理事、FTものづくり研究所代表、経営研究所所長、日本自動車殿堂会長、進化経済学会フェロー、他。専門は技術・生産管理、進化経済学。

創立130周年記念 会員大会 — 2023年9月24日(日)
会場 / オークラアクトシティホテル浜松

「人を育てる」から「育つ人材」へ 強い自律型組織のつくり方

浜松商工会議所では、毎年1回、商工会議所事業に対する会員の理解を深め、また地域経済界の連帯を高めるため、著名講師を招いて会員大会を開催している。今回は、会員事業所の従業員やその家族などを含む500人以上が参加した。会頭挨拶に続いて、創業100年を迎えた会員企業15社を顕彰。その後、講演会が開かれた。

講演 箱根駅伝から学ぶ人材育成

企業が直面する人材不足と人材育成の課題に対し、組織を率いるリーダーは何をすべきか。

20年間の監督体験を基に展開された「組織論」「リーダーシップ論」に多数の参加者が熱心に耳を傾けた。

理念の共有が 組織を強くする

組織を運営する上で最も重要なことは何か。講演の中で原氏は、「理念の共有」と語った。

「理念とは、組織が何のために、どのような目的で存在するのかを明確にし、組織全体が同じ方向を指し行動するためのものです。理念は組織の『目的』であり、それを遂行するための『手段』としての行動指針がどの組織にもある。監督に就任してから苦節5年、33年ぶりの箱根駅伝出場を果たすまでのチームづくりで取り組んだことは、『理念の共有』を主軸にした組織力でした」

では、組織を形作る人材はいかに育てればよいのか。原氏は、「組織の成長に合わせてティーチングとコーチングを使い分けることが必要」とし、組織の成熟に従ってティーチングからコーチングへと切り替える自身の育成法について解説した。

軌道修正のための ミーティング

しかし、何事も計画通りにいくとは限らず、組織運営には軌道修正がつきものだ。原氏は、そこで

も独自の工夫を凝らす。ミーティングで、過去の誤りや欠点を指摘し合う「フィードバック」型ではなく、成功に向けて何をすべきか組織全体で話し合う「フィードフォワード」型を採用することだ。

「まだ起きていないことに対して話し合うため、周囲からは前向きなアドバイスをもらうことができ、受け入れやすくなる。未来完了形の発想が、組織に『関係・行動・結果』の質の好循環を生み出すのです」

若手が育つ組織

日々学生と向き合う原氏は、コミュニケーションを取るための努力を怠らない。

若者文化に関心を持ち、それをアドバイスに取り入れ理解しやすいように伝える。個性に合わせて対話することでオンリーワンの成長曲線を明確に示しつつ、チャレンジすることを促している。

「チャレンジには失敗もついてまわる。しかし、チャレンジによる失敗は失敗ではない。何もせず、ただ現状維持に満足して立ち止まる行為を、私は失敗だと捉えています。輝く未来に向けて、誰もが果敢にチャレンジしていく文化をぜひ組織に築いて下さい」

創立130周年 記念植樹

2024年3月23日(土)
会場／はままつフラワーパーク
浜名湖ガーデンパーク

花博会場に若木を寄贈

3月23日、「浜名湖花博2024」の開幕に合わせて、はままつフラワーパーク・浜名湖ガーデンパークの花博両会場では浜松商工会議所創立130周年の記念植樹式を行った。フラワーパークにジューンベリー1本、ガーデンパークにサルスベリ2本をそれぞれ贈呈。当商工会議所から石黒衆副会頭らが出席し、フラワーパークでは中野祐介市長、パークを運営する浜松市花みどり振興財団の塚本こなみ理事長と、また、ガーデンパークでは川勝平太県知事と一緒にスコップで木の根元に土をかぶせた。



はままつフラワーパークに
植えられたジューンベリー



浜名湖ガーデンパークには
サルスベリの木が贈られた

当日はあいにくの雨模様。式典では、挨拶の言葉や目録・感謝状の贈呈の後、記念植樹の土入れが行われ、出席者たちがスコップで土かけをした。

はら すすむ

原 晋 氏

青山学院大学
地球社会共生学部 教授
陸上競技部 長距離ブロック監督

1967年生まれ、広島県三原市出身。大学卒業後、中国電力陸上競技部に入部。故障による引退後は、同社営業部で顕著な成績を上げるも競技とは無縁の生活を送る。知人による推薦をきっかけに2004年に青山学院大学陸上競技部の監督に就任。09年に33年ぶりの箱根駅伝出場を果たす。15年に青学史上初となる箱根駅伝総合優勝。24年の第100回記念大会では往路・復路ともに制し、2年ぶり7度目の総合優勝を達成した。



創業100年企業特別顕彰

講演に先立ち、創業100年を迎えた会員事業所の
顕彰式が行われた。



浜松商工会議所創立130周年記念事業
第8回全国軽トラ市inはままつ
(第10回軽トラはままつ出せ市)

大盛況!

荷台に旬の農作物を満載 「全国軽トラ市」浜松初開催

2023年師走最初の日曜日、浜松商工会議所の招致により、浜松市中心市街地の鍛冶町通り周辺にて「全国軽トラ市」が開催された。軽トラックやキッチンカー、テントブースを含め県内外から137店が出店。青空の下、会場は買い物を楽しむ約6万人の来場者で賑わいを見せた。



軽トラ市の前日に開催された「全国軽トラ市サミット」では、「軽トラ市とまちづくり」をテーマとしたシンポジウムや交流会などが行われた

日時 2023年12月3日(日)
10:30~14:30

会場 浜松まちなか鍛冶町通り



主催 第8回全国軽トラ市inはままつ実行委員会 [JAとびあ浜松 / (一社) 浜松商店界連盟 / 浜松まちなかにぎわい協議会 / (一財) 浜松まちづくり公社 / 後道繁栄会連合会 / ジョイフルモール 商店会 / 浜松市中央柳通り商店街振興組合 / 鍛冶町通り商店街振興組合 / 有町発展会 / 有楽街商店街振興組合 / 浜松市中央地区自治会連合会 / 鍛冶町自治会 / 千歳町自治会 / 浜松市 / 浜松商工会議所] 後援 (公財) 浜松・浜名湖ツーリズムビューロー 協力 (一社) 日本自動車工業会 / (一社) 全国軽自動車協会連合会 / 静岡県軽自動車協会 / 愛知大学三遠南信地域連携研究センター 事務局 浜松商工会議所

浜松商工会議所では、浜松市中心市街地の賑わいづくりと、農工商連携・6次産業化の促進による産業活性化、浜松・浜名湖地域の新鮮な食材の認知度向上を目的に「軽トラはままつ出せ市」を開催している。JAとびあ浜松の当商工会議所入会後の連携事業として2015年に始まった。その10回目を迎えるにあたり、浜松商工会議所創立130周年の節目と、大河ドラマ『どうする家康』ゆかりの地として多くの観光客が来訪する年であることから、本イベントをさらに盛り上げるべく「全国軽トラ市」を招致開催した。

イベント前日の12月2日(土)には、ホテルクラウンパレス浜松にて「全国軽トラ市サミット」が開かれた。当日は軽トラ市運営団体や市長のほか、軽トラックを生産する自動車メーカー、軽トラ市を研究する愛知大の関係者等がシンポジウムなどに臨んだ。

歩行者天国となり大勢の来場者で賑わう鍛冶町通り。

地元浜松・浜名湖地域の農産物・海産物はもちろん、グルメ、土産物なども広く集められ、当地の魅力が詰まった催しとなった



松菱跡地に射的の軽トラ屋台がお目見え。
順番を待つ親子連れたちの行列ができた



鍛冶町通りではステージイベントとして
キッズダンスなどのパフォーマンスが繰り広げられた



開会式では浜松市中野市長や当所斉藤会頭に続いて、
自工会軽自動車委員会の鈴木委員長が挨拶した

人を呼び、にぎわいを生む、 軽トラの祭典

軽トラ市は2005年、若手県警石町の商店街で行われたのが発祥とされる。地元農産物の販路拡大に加え、商店街の活性化などまちづくりにも役立つと注目され、今では全国100カ所以上に広まっている。「全国軽トラ市」は同町などで組織する団体により2014年に始まった。

開催当日は、特産物を満載した軽トララックが中心市街地の目抜き通りにずらりと並び、会場一帯はまさに広域物産展の様相。新鮮野菜を買い求める大勢の来場者で荷台の農作物は積んだそばから売れていき、商店街のお祭りのような賑わいの空間が生まれた。生産者と消費者とが直接コミュニケーションすることも、このイベントの大きな魅力の一つだ。

鍛冶町通りをメイン会場とし、松菱跡地ではキッチンカーによる地元グルメを提供、モール街では当商工会議所認定「やらまいブランド」の土産品販売やお楽しみ抽選会なども。新川モールではアウトドアや地場のものづくりをテーマにした展示販売を実施した。

また、肴町商店街やその周辺では、雑貨市「まるたま市」と、老舗店が自慢の品をワゴン販売する「肴町バザール」が同時開催。浜松城公園では「JAとぴあ浜松農協祭」、JR浜松駅北口ギャラリーモールソラモでは、中心市街地の遊休不動産や空間を再生する取り組みを紹介する「浜松リノベーションフェスティバル」も開催。浜松のまちなかイベントムード一色に染まり、来場者の周遊を促した。

浜松商工会議所 歴代会頭



初代 明26.11~明34.4

鶴見信平
会社取締役



2代 明34.5~大12.7

中村藤吉
棒屋



3代 大12.8~昭6.12

宮本甚七
日本形染(株)



4代 昭6.12~昭16.6

鈴木幸作
ヤマヤ



5代 昭16.7~昭21.8

津倉亀作
浜松倉庫(株)



6代 昭21.10~昭23.9

中村達一郎
浜松酒造(有)



7代 昭23.10~昭25.9

川上嘉市
日本楽器製造(株)



8代 昭25.10~昭27.9

中村清次郎
日本形染(株)



9代 昭27.10~昭28.12

中山 均
浜松倉庫(株)



10代 昭28.12~昭36.5

大野木代次郎
浜松米穀(株)



11代 昭36.5~昭41.9

戸田利勝
東陽興業(株)



12代 昭41.12~昭47.9

鈴木俊三
鈴木自動車工業(株)



13代 昭47.10~昭53.9

平野富士雄
遠州鉄道(株)



14代 昭53.10~昭61.7

河合 滋
(株)河合楽器製作所



15代 昭61.7~平2.9

加藤輝隆
大和染工(株)



16代 平2.10~平8.9

石津 薫
遠州鉄道(株)



17代 平8.10~平13.10

鈴木富士男
浜松信用金庫



18代 平13.11~平19.10

中山正邦
浜松倉庫(株)



19代 平19.11~平25.10

御室健一郎
浜松信用金庫



20代 平25.11~令3.12

大須賀正孝
(株)ハマキョウレックス

※会社名は在任時のものです

編集後記

浜松商工会議所は令和5年4月に創立130周年の節目を迎えました。創立130周年記念事業特別委員会を組織し、種々記念事業を行ってまいりましたが、その集大成として『創立130周年記念誌』を発刊する運びとなりました。

今般、記念誌を形にし、無事皆さまのもとにお届けすることができましたのも、委員の皆さまをはじめ、多くの方々より多大なるご協力を賜りましたおかげであり、心より感謝申し上げます。

これまでも周年事業の際には、一つの節目として常に記念誌が編纂されておりましたが、改めて過去の記念誌をひもときますと、その時々々の経済環境や当地域・当商工会議所が置かれた状況など、当時の状況を事細かくうかがい知ることができま

す。改めてこの10年を振り返りますと、新型コロナウイルスによる世界的パンデミックの発生をはじめ、米中2大国対立の先鋭化による安全保障網・サプライチェーンの再構築、AIの飛躍的發展に伴う社会・労働環境の変革など、まさに激動



創立130周年記念事業
特別委員会
委員長 前嶋文明

の時代と呼べるものでした。

その一方で、浜松市に目を向けますと、持続可能な社会構築を企図した行政区再編がついに実現するなど、常に「やまの精神」に基づく変革への挑戦が続けられてきたと知ることができます。

不透明な時代、今後も私たちには予期せぬ難題が降りかかることでしょう。こうした時こそ、本誌を含む周年記念誌を多くの方にお読みいただき、諸先輩方が築いてこられた偉大なる礎を再認識いただくとともに、地域企業の皆さまの日々の経営の糧にさせていただきましたら幸いです。

結びにあたり、編纂にあたりましては正確を期するよう努めました。が、至りません部分につきましては、何卒ご容赦いただけますようお願い申し上げます。

浜松商工会議所 創立130周年記念事業 特別委員会

委員長 前嶋文明 ソフトプレ工業(株)

担当副会頭 石黒 衆 (株)イシグロ

委員	須山宏造 須山建設(株)	伊藤徳直 (株)静岡銀行
	片岡信夫 (株)五味八珍	安間みち子 (有)三銀堂不動産
	井熊正浩 静岡エフエム放送(株)	山下智司 (株)呉竹荘
	高橋満敬 浜松定温輸送(株)	日下部行宏 (社福)聖隷福祉事業団
	柳原一貴 (株)アウンズ・ヤナギハラ	吉川 賢 (株)三共
	山崎文義 山崎電機産業(株)	



浜松商工会議所 創立130周年記念誌

発行日 2024年3月

発行 浜松商工会議所 TEL 053(452)1111
〒432-8501 静岡県浜松市中央区東伊場2丁目7-1